



平成 20 年 3 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 N F K ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 城寶 豊
(JASDAQ ・ コード 6494)
問合せ先 取締役 田中 耕
T E L (045) 575-8000 (代)

特別損失の発生及び平成 20 年 3 月期通期 (連結 ・ 個別) 業績予想の 修正に関するお知らせ

平成 20 年 3 月期 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) の業績予想について、平成 20 年 2 月 20 日付当社「平成 20 年 3 月期業績予想 (連結) の修正に関するお知らせ」にて発表いたしました当社連結業績予想及び平成 19 年 11 月 30 日付の「平成 20 年 3 月期中間決算短信」にて発表いたしました当社個別業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失が発生いたしますので下記の通りお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生

(1) 子会社株式売却損

以下の連結子会社の株式を譲渡することにより、当社個別損益として合計 350 百万円の特別損失が見込まれます。

株式会社ユニバーサルハウジング	250 百万円
株式会社ファースト	<u>100 百万円</u>
合計	350 百万円

(2) 貸倒引当金

下記の債権について貸倒引当金の計上が予想される結果、当社連結及び個別損益として合計 1,997 百万円の損失が見込まれます。

(ア) 連結子会社ユニバーサルハウジングへの貸付金 1,400 百万円に対する追加引当
1,225 百万円

(イ) 明治建物株式会社との共同事業に関する出資金 900 百万円に対する追加引当 630
百万円

(ウ) 連結子会社ファーストへの貸付金 142 百万円全額に対する引当 142 百万円

2. 平成 20 年 3 月期業績予想の修正（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想

（単位 百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	7,500	230	450	1,900
今回予想（B）	7,000	460	910	3,847
増減額（B - A）	500	230	460	1,947
増減率	7.1%	-	-	-
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	12,001	198	61	2,194

(2) 個別業績予想

（単位 百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	340	10	5	2,040
今回予想（B）	340	10	5	4,397
増減額（B - A）	0	0	0	2,350
増減率	-	-	-	-
（ご参考） 前期実績（平成 19 年 3 月期）	1,911	198	179	1,758

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

連結売上高につきましては、子会社のユニバーサルハウジングにおいて当初約 30 億円の売上高を見込んでおりましたが、市況の悪化により、単一で 5 億円以上の売上が見込まれた販売用物件 5 物件の販売が期末までにいずれも成約に至らない見込みであることや、収益物件 2 物件及び戸建物件 10 件前後について販売価格の値引きを余儀なくされたことから、同社の売上高は 25 億円前後となる見込みです。この結果、連結売上高は前回予想 7,500 百万円を 500 百万円下回り 7,000 百万円となる見込みです。

連結営業利益につきましても、ユニバーサルハウジングの売上高見込が当初の予想を下回るのに伴い同社の営業利益が当初の 150 百万円から 380 百万円前後に悪化する見通しとなった結果、連結営業利益は前回予想 230 百万円を 230 百万円下回り 460 百万円となる見込みです。

連結経常利益については、上記の連結売上高及び連結営業利益の下ぶれの影響のほか、不動産事業において棚卸資産が増加した一方で資金調達については不動産全般及びユニバーサルハウジングに対する金融機関の対応は厳しく、ノンバンクからの借入条件も悪化し

て支払利息や融資手数料などの費用が増加したことなどから、前回予想 450 百万円を 460 百万円下回り 910 百万円となる見込みです。

連結当期純利益につきましては、上記の営業利益、経常利益の下ぶれの影響のほか、上記「1.特別損失の発生(2)貸倒引当金」に記載した要因等を踏まえ、合計 1,947 百万円の特別損失が発生する結果、前回予想 1,900 百万円を 1,947 百万円下回り 3,847 百万円となる見込みです。

(2) 個別業績予想

個別売上高、個別営業利益及び個別経常利益については前回予想から変更はありません。個別当期純利益につきましては、上記「1.特別損失の発生(1)子会社株式の売却損」に記載した合計 350 百万円に、連結と同様上記「1.特別損失の発生(2)貸倒引当金」に記載した要因を加算した結果前回予想 2,040 百万円を 2,350 百万円下回り 4,397 百万円となる見込みです。

ご注意： 本資料に記載しております業績に関する予想数値は、何れも本資料の発表時現在において入手可能な情報による判断及び仮定に基づくものであり、実際の業績は当該予想と異なる場合がありますので予めご了解ください。

以上